

2022年9月29日

## 通貨ニュース

# タイ:9月金融政策委員会～利上げは段階的かつ慎重に

タイ中央銀行(BOT)は28日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の0.75%から1.00%に引き上げた(図表1)。委員会メンバー7人のうち6人が25bpsの利上げを支持し、1名は50bpsの利上げを支持していた。政策金利の引き上げは前回8月会合に次ぐ決定となった。なお、ブルームバーグの事前予想では25bpsの利上げ予想が有力であった。

声明文では、引き続き国内経済の回復に言及。個人消費の改善と観光業の再開が今後も景気を押し上げていくとの見方を示した。前回会合にて22年実質GDP成長率を従来の前年比+3.3%から上方修正する可能性を示唆したが、BOTは見通しを据え置いた。なお、23年については、世界景気の減速を意識して従来の同+4.2%から+3.8%に下方修正している。

国内のインフレに対する警戒は強いが、先行きの見通しに大きな変化は見られていない。8月消費者物価指数(CPI)は前年比+7.9%を記録し(図表2)、7月から加速したものの、間もなくインフレのピークを過ぎるとしている。22年のインフレ予想は前年比+6.3%とBOTの目標レンジ(+1.0%~+3.0%)から大きく上振れるものの、23年については同+2.6%として、目標レンジに収束するとしている。ただし、国内経済の正常化によって失業率の低下と相まって平均賃金水準の上昇が確認されている(図表3)。観光業の本格再開が実現すれば失業率もコロナ前の水準に戻るものと見られ、これが長期的なインフレに寄与する可能性は残る。

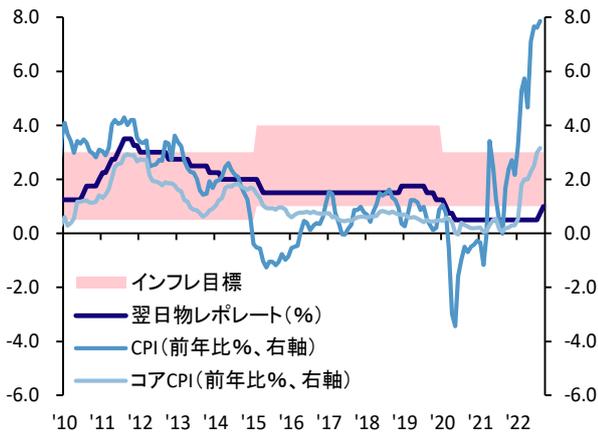
かかる中、今後の政策指針について、成長率とインフレ予想に関する見通しに変化が生じた場合は大幅な利上げの可能性を示唆した。もっともタイ経済は回復途上にありながらも、依然コロナ前の水準を回復しておらず、景気への配慮は続くと思われる。BOTの金融政策正常化は段階的に進捗すると考えたい。

むしろ、急速な利上げを促す可能性があるのはTHBの相場動向であろう。9月FOMCの結果を受けて、THBは対ドルで約16年ぶりの安値をつけた(図表4)。BOTも過度な為替変動をけん制する発言をしており、THB安は輸入物価上昇を通じたインフレ高進の芽にもなる。図表5に示される通り、周辺国の相場にも同様の傾向が見られており、米金利の上下に相場が揺れる展開は少なくとも年内において継続していこう。

一方で、年初以降にはTHBが値を戻す余地もある。資源価格に調整が入っているほか、訪タイ観光客は予想を上回るペースで回復している(図表6)。コロナ禍で経常収支を大きく悪化した要因は旅行収支(サービス収支)の悪化であり、これがTHBの実需環境を一変させた。政府の水際対策は緩和から撤廃に向かっており、今後の更なる呼び込みが期待される。片や、外国人観光客の約3割は中国人であり、中国の防疫政策次第の側面もある。この点は経済(成長率)、物価の両面に影響を及ぼす論点でもありその動向には注意を払いたい。

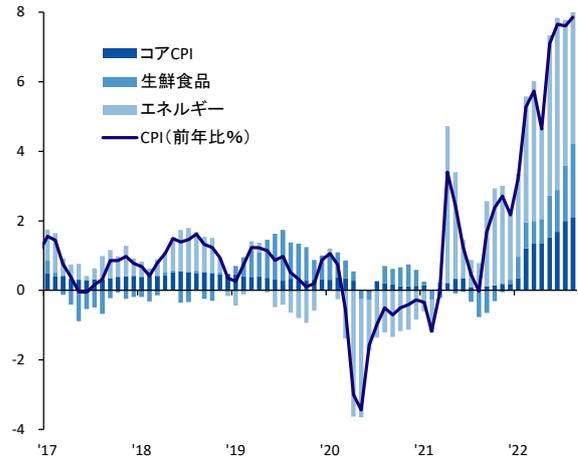
市場営業部  
マーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
03-3242-7065  
[takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp](mailto:takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp)

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: CPIの動向 (前年比%、%ポイント)



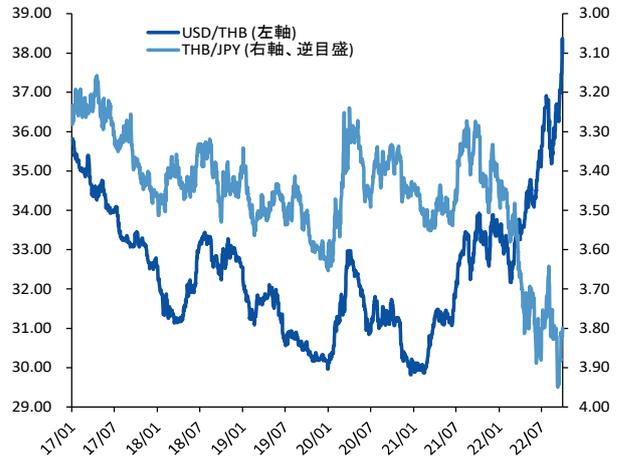
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 平均賃金上昇率と失業率 (前年比%、%)



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 4: THB 相場の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 5: ドルインデックスとアジア通貨インデックス



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 6: 外国人観光客訪問状況



出所: CEIC、みずほ銀行 ※季節調整値のためマイナスの場合あり

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。